



株式会社原田屋

所在地

山口市小郡下郷 867-30
TEL: 083-972-2491

代表

原田 泰蔵

H P

原田屋公式サイト
<https://www.haradaya.jp>
パーティ&マイルス エミリア公式サイト
<https://partymice.weddingcourt-emilia.com>

●会社沿革

- 大正12年 有限会社原田屋創業
- 昭和27年 株式会社原田屋として改組
- 平成9年 本店移転
- 令和5年 創業から100周年を迎える
- 令和6年 結婚式場「ララマリー」グランドリニューアルオープン



代表取締役の
原田泰蔵氏

今月号では、株式会社原田屋の原田泰蔵代表取締役にお話を伺いました。

ブライダルハウスハラダヤ

●創業101年、結髪業からブライダル業へ

原田屋は創業から101年を迎えます。私は4代目になりまして、現在は貸衣装、結婚式場、フォトスタジオを営んでいます。

創業者である曾祖父の原田幸吉こうきちは、大正4年11月24日、移民船「静洋丸」(せいようまる)で横浜港を出航し、南米ペルー北部のチクリン耕地に渡りました。しかし、内地で聞かされていた入植条件と全く異なり、劣悪な住環境や賃金不払い、風土病、また逃亡者が鉄砲で撃たれるような惨憺たる状況だったそうです。友人と共に岩砂漠の中を何日間も歩き続け、アマゾン川を渡り、200キロ離れたチクラエヨに避難しました。現地では芋飴を売って生計を立て、後に生活雑貨店を数店舗経営するようになりました。ペルーに生活基盤が出来たため、当初は山口に残した家族を呼び寄せる計画があったようですが、最終的には大正12年9月に帰国を果たし、翌10月16日、現在の山口市小郡に有限会社原田屋を創業しました。

祖業は曾祖父が始めた桐下駄製造販売です。二代目の祖父が引継ぎ、約40年間、履物店を営んでいました。一方、曾祖母は日本初の洋式美容室を開いた遠藤波津子先生に師事し、その経験を基に結髪業を始め美容室を開きました。当時、結婚に関する情報は美容室に寄せられていたこともあり、三代目の父が社屋の2階で貸衣装を始めました。これが現在のブライダル事業に繋がっています。

1996年、結婚式場紹介所「カリヨン山口」をオープン。2004年、小郡に結婚式場「ララマリー」、2013年にはJR新山口駅前に結婚式場「ウェディングコート エミリア」、2021年にフォトスタジオ「アンシェリ」を開きました。



ウィリアムモリスの世界観で撮影できる
オーダーメイドフォトスタジオ「an Cheri」

●2020年に一変した経営環境、発想の転換で望む

新型コロナウイルス流行下では、主軸である結婚式ができなくなりました。国内で最初に影響が出たのはサプライチェーンでしたので、ブライダルは影響を受けているという実感はありませんでしたが、間もなく事態は一変し行動規制が敷かれ、突如として結婚式ができなくなったのです。社内には結婚式の開催を見送る電話が連日のように続きましたが、報告を整理していると、キャンセルはほとんど無く、延期を選ばれるお客様のほうが多いことが分かってきました。私たちはこのことをお客様が我々に寄せる期待だと受け止め、それにお応えするにはどうすれば良いかを皆で真剣に考えました。会いたいときに会えない、行きたい時に行けない、そんな制限下にあってもどうすれば二人の想いを叶えられるのか、シェフやカメラマンも検討会に加わり、可能性をひとつひとつ積み重ねながら、2020年5月に山口県初の「オンライン結婚式」を実現することが出来ました。その後、ライブ配信専用の各種デジタル装置を整備させて頂き、婚礼料理を自宅へお届けできる仕組みも完成し、リモートで披露宴ができるようになりました。「山口県産和牛のワイン煮込み」はエミリアの人気メニューです。北海道からオンラインで参加されたゲストの方が、ご自宅でこの料理を楽しまれた後に喜びの声をお電話で伝えてくださったとき、そのお言葉が私たちの大きな励みとなりました。また、衣裳店としての強みを活かし、「オンライン映え」するドレスの着こなし方のアドバイスを始めるなど、WEBならではの楽しみ方を増やしていきました。



遠隔でも参列できるオンライン結婚式

オンライン結婚式の料理開発がきっかけとなり、食品を冷凍して提供できる仕組みが整いました。「引き出物を作れないか」という話になり、フレンチ用の食材を使った「エミリア 幸せのフレンチスープ」の冷凍販売も開始しました。式場で提供する料理をつくるには良質な食材がある程度まとめて仕入れるため、フードロス削減の観点から、使い切れない食材を活かしシェフが丁寧に調理して本格的なスープに仕立てています。結婚式だけでなく、お歳暮等のギフトとしてもご用意いただいています。もう一つの式場「ララマリー」は6種類の「クラフトバター」や「生おせち」を販売するようになりました。



阿東和牛などの県産食材も使った「幸せのフレンチスープ」



ララマリーで提供するクラフトバター（ソルティーレモン）

●企業・団体向けの新ブランド「パーティ & マイス エミリア」

5類移行後、企業や団体の方々からの問合せが増えてきました。ウェディングコート エミリアは、JR新山口駅近のアクセスを活かし、今年の1月から「パーティ & マイス エミリア」の名称で宴会・パーティ事業を始めました。

特長の1つは「エレガンス」です。スタイルやデザインの異なる複数のパーティスペースからお選び頂くことができます。各会場にはオープンテラスを備え、特別感あふれるセレモニーや県産食材を使ったフレンチビュッフェ等を堪能できます。2つ目は「ダイバーシティ」。パーティ会場はフロア全体を占有して貸し切れることもできるゲストハウス型。プライベートな集まりからビジネスシーンまで、ご利用者のテーマやコンセプトに合わせて自由にカスタマイズすることができます。授乳室や休憩室等を併設し、子育て中の女性にも配慮しています。3つ目は「ハイブリッド」。会場内に設置した複数のストリーミングカメラ、独立型のデュアルスクリーン、高速インターネット回線等のデジタル設備を活用し、ライブ配信、WEBセミナーなど、リアルとオンラインのミックス開催（ハイブリッド）でイベントを開催できます。



ウェディングコートエミリアの会場イメージ

「ウェディングコート エミリア」はこの新ブランドと併行し、企業イベントや宴会・パーティにも最適なサービスを提供します。ウェディングと宴会・パーティの両事業を通じて、多様なお客様のニーズに応え、幅広いサービスを展開したいと考えています。

●結婚式場「ララマリー」、20年の節目に改装オープン

ララマリーは、南フランスをモチーフにし、中心にガーデンを備えたアットホームなスタイルの結婚式場です。これまでは雨や日差しといった天候への対応が課題の一つでした。20周年を迎える節目に合わせて3月に大規模なリニューアルを行い、新緑に囲まれたガーデンと一体化したパーティスペース「テラシエル」を新たにオープンしました。様々な用途で会場や屋外空間が活用できるようになり、長州鶏の薫焼きをはじめとするアウトドア料理やオリジナルアフタヌーンティなど、料理メニューを一新しました。結婚式だけでなく、記念日のお祝いや卒業パーティなどのプライベートイベント、団体様の宴会等にもご利用いただけるようになり、ご提案の幅が大きく広がりました。



3月に改装オープンした「テラシエル」
「テラ」は大地、「シエル」は空で「天地自然」をイメージ

●不易流行、本質を大切に多様化する要望に応える

昨年創業100年の節目を迎え、今年は次のステージへの架け橋になるよう新たなスタートを切りたいという気持ちです。結婚式のスタイルは多様化し、お客様によって理想も様々です。コロナ禍を経てそれが加速したようにも感じています。先日、ウェディングドレスデザイナーの桂由美先生の半生を描いたドラマが全国ネットで放映されましたが、以前「Yumi Katsura 50周年」の記念式典の折に、これまでのブライダルの変遷について桂先生が講演されたことがあります。講演の後、「50年間、逆に変わらなかったものは何でしょうか」と質問させていただいたところ、桂先生からは「結婚式が花嫁にとってハイライトシーンであること」というお答えをいただきました。花嫁が最高に美しく輝きたいという思いは変わらない、ということです。

不易流行と言いますが、スピード感とチャレンジ精神を持って時代に合わせて変化しながらも、お客様の心に残る喜びと感動を不変のテーマとして、社業に邁進して行きたいと思えます。こんにちまで地域の皆様からお育てをいただいたことへの感謝の心を土台とし、これからの第一歩を望む所存です。